

# 「平成24年度 とやまの竹資源ネットワーク講習会」の実施

## 1 概要

放置竹林の再生整備と拡大の防止を図るためには、竹資源の地域利用によって竹林を継続的に管理していくことが重要となっています。このため、竹林所有者や竹資源利用団体などからなる「とやまの竹資源ネットワーク」参加者を対象として、竹資源の利用に必要な技術講習や意見交換などを行い、竹資源の活用推進を目指す講習会を下記のとおり開催しました。

## 2 日時・場所

- (1) 日 時 平成25年3月2日(土)  
9時30分から12時30分まで
- (2) 場 所 射水市大門総合会館 6階 こぶしホール

- 3 参加者数 56団体(111名)  
内訳 53地域91名、3企業7名、その他13名

## 4 実施内容等

- (1) 講 習 「竹林整備のデザインと施業方法について」  
講師 富山県森林研究所 大宮 徹 副主幹研究員  
「中越パルプ工業(株)からのおしらせ」  
講師 中越パルプ工業(株) 山本 将嗣 氏  
「竹オガ粉でキノコができる！」  
講師 富山県森林研究所 高畠 幸司 副主幹研究員
- (2) 実 習 「竹オガ粉によるきのこ菌床づくり」  
講師 富山県森林研究所 高畠 幸司 副主幹研究員
- (3) 試 食 「竹オガ粉から発生したキノコの試食」
- (4) 参加者の主な意見
- ・タケノコを利用しながら管理する方法が参考になった。
  - ・中越パルプ工業(株)の竹利用事業や、新しく導入されるチップーなどをぜひ活用し、竹林整備につなげてみたい。
  - ・竹オガ粉からキノコをつくることのできるのに興味深く、今後の可能性に期待が持てる。

## 5 活動状況



講習の状況



実習の状況



試食の状況